

紛争地、被災地に生きる人々の声 ～取材から見えてきたこと～

日本では戦後 80 年といわれていますが、海外では今もなお戦争が

長く続き、多くの人々が犠牲になってきました。

私たちとは遠い問題なのでしょうか。

また東日本大震災の時、被災地で講師が取材で出会った人との関わりなどを写真とともに
伝えていただき、「私たちがどんな未来を選んでいきたいのか」を考えます。



📅 11 月 20 日 木曜日 ⌚ 10 時から 12 時 📍 芝久保公民館 視聴覚室

定員 20 人 対象 市内在住・在勤・在学者 申し込み 11 月 4 日（火）10 時から電話で芝久保公民館へ
(申込順)

オンライン登壇



やすだ な つ き

安田菜津紀さん

1987 年神奈川県生まれ。認定 NPO 法人 Dialogue for People（ダイアログフォーピープル/D4P）フォトジャーナリスト。同団体の副代表。16 歳のとき、「国境なき子どもたち」友情のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたちを取材。現在、東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で難民や貧困、災害の取材を進める。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。著書に『国籍と遺書、兄への手紙 ルーツを巡る旅の先に』（ヘウレーカ）、他。上智大学卒。現在、TBS テレビ『サンデーモーニング』にコメンテーターとして出演中。

※質疑応答の時間を設けておりません。あらかじめご了承ください。

芝久保公民館

西東京市芝久保町5-4-48

☎ 042-461-9825（平日9時～17時・第4月曜日休館）